

とやま

県広報とやま

2004

2月号

No.404

富山県

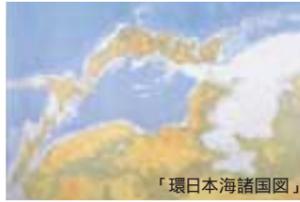
特集 学びたい！その気持ちを応援します

クローズアップ ちょっとそこまで歩いてみませんか



地元の米や野菜を使った「かんもち」や漬け物などの特産品づくりに取り組み、女性起業で県内初の農事組合法人として活躍する「食彩工房たてやま」の皆さん。

魅力ある講座がいっぱい!



「日本海学」
日本海を取り巻く地域の歴史や文化を学び、今日の国際協力等について考えます。
[高岡地区センター]



「ホームヘルパー2級」
食事の介助などの実習を行い、ホームヘルパー2級の資格を取得します。
[新川地区センター]



「人生と愛を考える」
世界の代表的な宗教を題材に、人間のあり方や生き方を考えます。
[砺波地区センター]

平成16年度 開講講座 【前期(4~9月)・通年】(予定).....

本部	
分野	内容
文化・芸術	富山の古文書
	富山の美術館
ボランティア養成	グラフィック、プレゼンテーション、ノリニア編集
	聞き書きの技法
	ホームページ作成
	ビデオ撮影・編集
	視聴覚教材作成

地区センター		高岡	新川	砺波
分野	内容			
健康・スポーツ	国際伝統医学			
	健康体操			
	食生活・文化			
	ニュースポーツ			
	弓道			
	ダンス			
	家庭看護			
	ホームヘルパー2級			
環日本海諸国の文化・言語	日本海学			
	世界の現状			
	英会話初級			
	中国文化・中国語 韓国文化・韓国語			
情報	パソコン			
	広報紙作成			
地域学	新川学、砺波学			
	親子自然探検			
芸術	デザイン			
	デッサン、水・油彩画			
	陶芸			
	篆刻(てんこく)・刻字			
	書道			
	合唱・音楽鑑賞			
	和楽器(箏(そう))			
	人生と愛を考える			
生活	文章の書き方・話し方			
	身近な古典			
	身近な数学			
	身近な電気			
	身近な環境			
	簿記			
	伝承技法細工			
	家庭菜園			
	服飾工芸			

皆さんの申込みをお待ちしています!

開講日時や受講料(800円~3,000円程度)など、詳しくは講座を開催する本部、各地区センターへお問い合わせください。

受講の申込受付
本部、新川・砺波地区センター 3月8日(月)~4月7日(水)
高岡地区センター 3月8日(月)~4月13日(火)

問合せ
県生涯学習カレッジ

【本部】
富山市舟橋北町7-1 県教育文化会館内
☎ 076(441)8401
http://www.tkc.pref.toyama.jp/

【高岡地区センター】
高岡市末広町1-7 ウイング・ウイング高岡7F
(県立志貴野高等学校内) 4月移転
☎ 0766(22)5787

【新川地区センター】
魚津市木下新144 県立新川みどり野高等学校内
☎ 0765(22)4001
http://www.nice-tv.jp/n-center/

【砺波地区センター】
小矢部市清水95-1 県立となみ野高等学校内
☎ 0766(61)2020
http://www7.ocn.ne.jp/tonami/

開所時間 午前9時~午後7時
(日曜日は午前9時~午後5時)
休所日 本部▶火曜、祝日の翌日、年末年始
地区センター▶火曜、祝日、年末年始
(高岡地区センターの開所時間、休所日は3月に決定します。)

学びたい! その気持ちを応援します

県生涯学習カレッジに新しく高岡地区センターがオープン



「教養を深めるために学びたい」「仕事に生かすために学びたい」「ボランティア活動をするために学びたい」と思ったことはありませんか。県生涯学習カレッジでは、県民の皆さん誰もが学びたいときに学べる場を提供しています。今年4月には、これまでの本部、新川・砺波地区センターに加え、新しく高岡地区センターが仲間入りをします。



高岡地区センターが入居する高岡駅前再開発ビル(ウイング・ウイング高岡)

新しく高岡地区センターがオープン
今年四月、新しい生涯学習の拠点として高岡地区センターが高岡駅前とができます。

誰もが学びたいときに学べる場を提供
少子・高齢化や情報化、国際化など、社会の急激な変化に柔軟に対応していくため、絶えず新しい知識や技能を習得しなければならなくなっています(二ページ参照)。各地区センターは、定時制・単位制高等学校に併設され、生涯学習校として高校生と社会人が一緒に講義を受けることができます。

全国でもユニークな学習サービス()

とやま学遊ネット <http://www2.tkc.pref.toyama.jp/general/>
県内で開催される講座やイベント、図書などの情報がホームページでご覧になれます。

自遊塾 本部 ☎076(441)8401
自ら講師となって講座を企画、運営することができます。
受講の申込受付:3月15日(月)~4月19日(月)

インターネット市民塾 <http://toyama.shiminjuku.com/>
自宅にいながら、さまざまな講座を受講できます。自ら講師となって講座を開講することもできます。
受講・開講の申込受付:随時

学びたい、を応援する
さまざまなサービス
県生涯学習カレッジではこのほか、皆さんの学習活動を応援するさまざまなサービスを提供しています(一)。(皆さんもぜひ、学んでみませんか。)

にオープンします。このセンターは県立志貴野高等学校と一体となった生涯学習校で、健康・スポーツや、環日本海諸国の文化・言語、「情報」などの講座を開催する予定です。また高岡市の生涯学習センターや中央図書館、男女平等推進センターと連携し、学習相談や学習活動の場を提供するとしていきます。

ちょっとそこまで歩いてみませんか

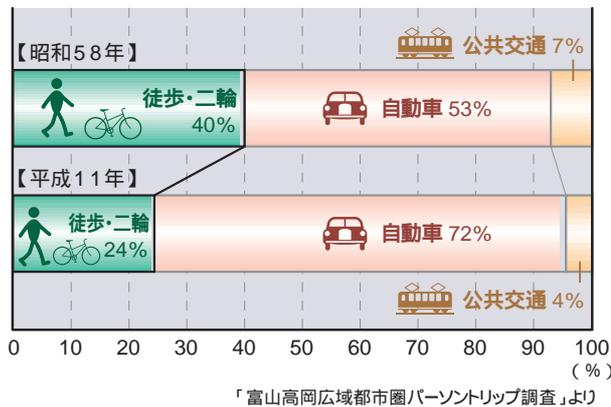


「脱マイカー」のライフスタイルの提案

富山県民は、全国の中でも歩かない県民だということをご存知ですか。県内ではマイカーを利用する方が増え、市街地の衰退や公共交通の衰退といったさまざまな問題が起きています。

こんなに歩かなくなっています。

- 富山県民の交通手段の変化 -



歩かなくなった富山県民

マイカーは、いつでも、どこへでも移動でき大変便利なものです。特に富山県は、一世帯あたりの自動車の保有台数が一・七一台と全国第二位（平成十四年）で、わずか数百メートルの短い距離でさえも歩かずに自動車を利用する方が増えています。マイカーの利用が増え過ぎると、交通事故が増加し、環境にも悪影響を及ぼします。また、郊外にできるお店などが増え、市街地から人がいなくなり、街にぎわいがなくなります。このほか、電車やバスの運行本数が減り、高齢者や通勤・通学者の大切な交通手段が失われていくといった問題が起きます。

マイカーだけに頼らない

マイカーの過度の利用を少しでも減らすためには、まずは皆さん一人ひとりが、近くへ出かけるときは歩く、遠くへ出かけるときは公共交通を利用するといったことから始めることが大切です。

県では、「富山県地域交通ビジョン」を今年三月に策定し、マイカーだけに頼らずに、徒歩や公共交通も利用して快適で豊かな生活ができるよう、皆さんと一緒に取り組んでいくこととしています。

自分の健康のためにも歩いて出かけてみてはいかがでしょう。マイカーに乗っていても気づかなかったことが発見できるかもしれません。

問合せ 県庁交通政策課
076(444)3123

ご意見をお寄せください

現在、策定を進めている「富山県地域交通ビジョン」について、皆さんのご意見を募集中です。

【ホームページ】

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1717/tikikotubijyon.htm>

【郵送の場合】

〒930-8501(住所記入不要)県庁交通政策課あて

【FAXの場合】076(444)9656

【電子メールの場合】

kotsuseisaku2@pref.toyama.lg.jp

締切 2月10日(火)

応募方法

安全で快適に歩ける街づくり

- フランス ストラスブール -

フランスの地方都市、ストラスブールでは、1962年に路面電車が廃止され、街はマイカーであふれかえりました。しかし、マイカーによる環境問題が深刻になったため、1994年、街に歩行者と路面電車だけが通れる道路を整備し、マイカーは街に入れないようにしました。郊外からは、街の入口でマイカーを駐車し、徒歩や路面電車ですり入ります。これにより、マイカーの利用は減り、街は人であふれ、にぎわいを取り戻しました。



整備前



整備後

写真提供: 服部重敏氏「鉄道ピクトリアル2000.7臨時増刊号」より

やさしくて、パワフル。 農村女性の力で、 町も食もいきいきと。



農事組合法人
「食彩工房たてやま」の
皆さん

左より
やすだ すみこ
安田 澄子さん
にしだ やよい
西田 弥生さん(代表理事)
しらishi こ
白石 サツ子さん

平成元年、立山町の農家の主婦たち30名が集まり、「立山町農村婦人グループ加工部会」を結成。地元のおいしい米や野菜を使った特産品づくりに取り組み始めた。野菜の粕漬けや地域に伝わる「かんもち」を試行のすえ商品化し、自ら販売活動を展開した。平成9年には加工施設を新設。名称を「食彩工房たてやま」とし、平成11年には女性起業で県内初の農事組合法人となった。メンバーは、60～70代の女性を中心。「手づくり、本物、無添加」にこだわった商品づくりを行っている。

こだわって、考えて、試して

赤、黄、白…。色とりどりの「かんもち」が慣れた手つきで編み上げられていく。かんもちの色は、合成着色料などを使用しない自然の色だ。

「最初はサフランの芯を試したけどうまくいかなくて、それから赤カブをすりおろして使ってみたりね」

そう語るの、代表理事の西田さん。かんもちの商品開発に、アイデアをこらしてきた。子どもにはエビ、お年寄りにはよもぎと、消費者の好みも考える。もち米も、いろいろ試して「新大正もち」を選んだ。

「収量が少なくて農家はつくりたがらないんですが、香りがいいし、味もいいんです」

野菜の粕漬けは安田さんの担当。朝採れた野菜を、その家ですぐ塩漬けにしてもらう。加工施設へ持つてくる間に味が落ちるからという。

「県外の観光客の方から『おいしかった』と電話で注文をもらったりすると、もううれしくてね。手が冷たくても汚れてもがんば(うんざり)笑」

一人ひとりが責任を持って

おこななどの注文が入ると、納品の時間から逆算して作業を始める。

朝三時という日もあるという。

「一度でも遅れると、次から注文が来なくなる。早起きしても間に合わせたいし、自然と目も覚めるしね」と、もち担当の白石さんは微笑む。どんな少量でもきちんと注文を受けて届けている。

メンバーは、漬物や生もち、かんもちなど、それぞれの役割を分担し、着実に実績を上げてきた。平成9年には現在の加工施設を新設し、それまで3ヶ所に分かれて作業していた不便を解消することができた。

「ひとつの場所ですらいたいというのが、大きな望みでした。本当にうれしかったですね」と、西田さん。

さらに平成十一年には、女性起業で県内初の農事組合法人となった。「私たちが成功すれば、次に続く人が出てくる。つますいたら続かなくなる。すごいプレッシャーでした」

翌十二年には見事黒字を計上。第一号としての責任を果たした。



粕漬けをつくる西田さんと安田さん。塩漬けの後、2～3度漬け替えて自分たちの味にするという。

味も、活動も、次へつなぐ



かんもちは、寒の時期に自然乾燥させてつくる農家の保存食。見事な手さばきで編み上げていく。赤は赤ビート、黄色はクチナシの色。他に古代米、キビなど12種類ある。

かんもちだけでなく、子どもが生まれた時や節句など、節目ごとの行事の味が失われつつある。メンバーは、それを伝えていきたいと、おもちに赤ちゃんの写真を添えるなど一工夫をして商品化している。

「郷土の食を伝承していくことも活動の目的なんです」と、西田さん。法人化したのも、次の世代への継承を考えてのことだと語る。「若い人にも入ってほしいですから」

白石さんは、「今、後継者を作りたいとがんばっているんです」という。教えている。若い人は五十代。「私たちが見れば、まだまだ若いわね」と三人は明るく笑う。そして「いつか自分たちの店を持てたら」と、安田さんは夢を語る。

やさしくて、たくましい。見事な技術者でもある女性たち。その笑顔は、いきいきと輝いている。

12月

- 2日 12月定例県議会(～18日)
- 6日 福祉機器と地域リハビリテーションの未来展(～7日)
- 8日 有峰森林文化村 梅原猛村長就任記念語り部講



村長を務める哲学者、梅原猛さんが「狂言と私」と題して講演した。

- 9日 第1回富山県の安全を守る対策協議会



犯罪が多発するなか、県民総ぐるみで、安全で安心して暮らせる社会の実現に取り組むことを確認した。

- 13日 高校生きらめきフェア(～14日)



自分たちで開発した商品を販売する生徒たち。フェアでは、県内の高校生が各校の特色ある活動を発表した。

- 18日 県新世紀行政改革懇談会
- 24日 とやま県民債発行

1月

- 1日 県個人情報保護条例施行
- 9日 富山地域地震・土石流災害危機管理演習
- 20日 東海北陸地域連携フォーラム
- 26日 魚津港風気楼ふ頭・水産物荷さばき施設合同竣工式

今後の予定

2月

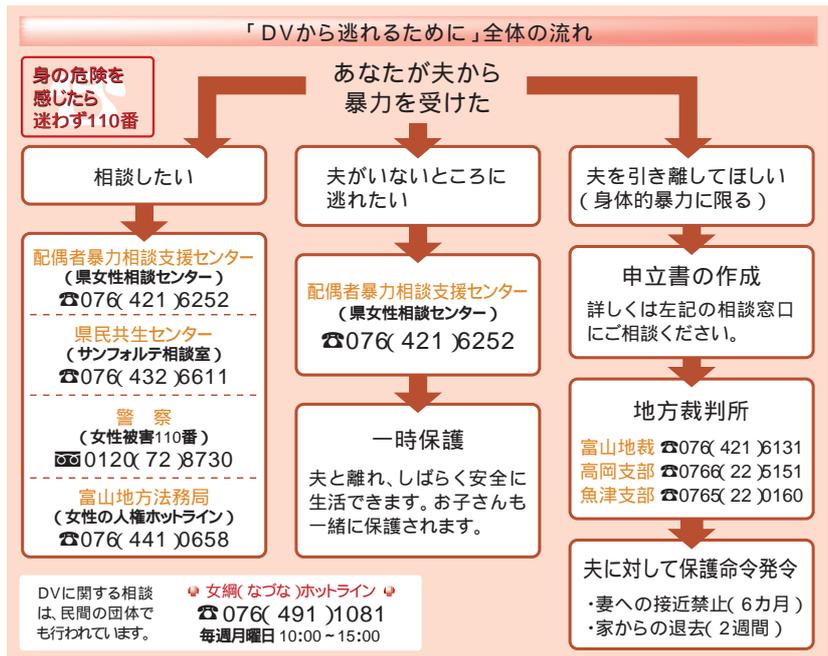
- 10日 ベンチャープラザとやま
- 13日 緊急学卒合同就職面接会
- 15・21日 都市農山漁村交流推進大会
- 27日 2月定例県議会(～3月23日)



夫から暴力を受け悩んでいます。どうしたらよいでしょうか。



夫からの暴力(ドメスティック・バイオレンス、DV)から逃れるためには、まず相談窓口にご相談ください。夫と離れてしばらく安全に生活できたり、暴力をふるう夫を引き離したりできます。DVには、殴る、蹴るといった身体的な暴力に限らず、「誰のおかげで生活できるんだ」と言うなどの精神的な暴力も含まれます。



問合せ 県庁男女参画・ボランティア課 ☎076(444)3137



ヤミ金融が横行していると聞きました。被害に遭わないために、その手口を教えてください。



ヤミ金融とは、貸金業規制法に基づく登録をしていなかったり、出資法に定められた上限利率(年利29.2%)を超えて利息を請求したりする違法な業者のことです。

ヤミ金融は、電柱広告、ダイレクトメール、チラシ、電話などで、「年利1.9%で100万円まで融資」「保証人不要」「他店で断られた方でも貸します」などと言葉巧みに勧誘してきます。融資を申し込むと、広告の条件とは違って、非常に高い利息を請求してきます。返済が遅れると、時間に関係なく自宅や勤務先を問わず、執ような取立てが繰り返されます。

お金が必要になったら、本当に借りる必要があるか、他に方法はないかよく考え、絶対にヤミ金融から借りてはいけません。万一被害にあった場合は、ひとりで悩まずに早めに相談してください。



問合せ 県消費生活センター ☎076(433)3252
県消費生活センター高岡支所 ☎0766(25)2777

これからいろいろな声をお寄せください。

- はがき 〒930-8501 (住所記入不要) 「県民のひろば」係
- 県民相談電話・FAX・Eメール TEL.076(431)3131 FAX.076(444)3300 E-mail.koho@pref.toyama.lg.jp

皆さんに郷土の良さを再発見・再認識していただくため、新聞・テレビ・雑誌など、さまざまなメディアで全国で紹介された富山の話題を紹介します。今回は平成15年11月～12月に紹介された話題の中からいくつかを紹介します。なお、ここで紹介しきれなかったものは県庁広報課のホームページでご覧になれます。

住民が支える万葉線

平成14年に、住民が支援して再出発した万葉線を紹介。環境保護のため路面電車が見直されているなか、今年1月に床が低く乗降しやすい赤色の新車両を導入し、利用者の増加を目指していることを伝えた。

○「毎日新聞」11月4日、「東京新聞」11月17日



山形県の米沢地方に馬犁を伝えた売薬さん

明治32年、山形県の米沢地方を訪れた青木次元という富山の売薬さんが、農家で田起こしを人力で作業していると聞き、富山で使っている馬犁を伝えたことを紹介。以来、この地方の農業は変わり、大きな利益がもたらされたという。

○「読売新聞」12月13日



世界のオンリーワンです、富山湾。

新聞や雑誌などで実施された県のイメージアップ広告を紹介。定置網や厩気楼、寒ブリなど、富山湾には世界に誇るオンリーワンの魅力がたくさんあることをアピールした。

○「毎日新聞」12月18日 ○「宣伝会議」2月号



就職率100%の富山県立大学

大学生の就職状況が依然として厳しいといわれているなか、富山県立大学は、就職希望者の就職率が100%(昨年春の卒業生)で、「得する大学」とであると紹介された。

○「週刊朝日」12月5日号



タラバガニの生みの親は富山の漁師

約100年前、富山の漁師が北海道のタラの漁場でカニを捕ったのがタラバガニ漁の始まりであることを紹介。船上で海水を使ったカニの缶詰加工に挑戦し、世界で初めて成功したという。

○NHKラジオ第1「ラジオあさいちばん」12月12日



今後の予定

「わたしの生きる道」

NHK教育 2月11日(水・祝)午後3:30～3:50
(再放送) 2月18日(水)午後3:30～3:50

自分の夢を実現しようとする「人生の先輩」を紹介する番組。今回、自分で仕入れたおいしい魚をお客さんに食べてもらおうと頑張っている県内の魚屋さんを取り上げる。



富山県が全国で紹介された情報をお持ちでしたら、ぜひ県庁広報課までお知らせください。

県政クイズ

今年4月、高岡駅前にオープンする県民生涯学習カレッジ高岡地区センターが入居するのは、
「ウイング・高岡」
です。

(を埋めてください。)
ヒント：1ページをご覧ください。

応募方法

はがきに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本誌の感想を記載し、富山県庁広報課「県広報とやま2月号クイズ係」まで。
締切/2月10日(火)(必着)

正解者の中から20名の方に、「水墨美術館観覧券」をペアでプレゼントします。(当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。なお発送予定日は2月12日です。)



とやまの情報お伝えします!【2月の県政番組・お知らせ】

番組タイトルは、いずれも仮題です。

こんにちは富山県です

北日本放送テレビ 毎週日曜 11:00～11:30

- 1日 わがまち自慢～利賀村～
- 8日 冬の富山で事故に遭わないために
- 15日 わがまち自慢～大山町～
- 22日 ネットワークを広げよう! 家庭の子育て
- 29日 ベンチャープラザとやま

とやまDASH! フォーカス・イン

富山テレビ 毎週日曜 9:00～9:30

- 1日 昔ながらの知恵
- 8日 とやま雪物語
- 15日 特産品大集合!
- 22日 図書館活用法
- 29日 生活習慣病を予防しよう!

富山が元気。見たモン勝ち2

チューリップテレビ 第4日曜 10:00～10:52

22日 冬を満喫しよう!

とやま県間録

F M とやま 毎週月曜～木曜 11:30～11:40
毎週土曜 11:30～11:55

新聞広報「県からのお知らせ」

2月14日の朝刊各紙に掲載予定

富山県ホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/>

編集部から

今号が皆さんのお手元に届くころには、雪は積もっているでしょうか。暖冬とはいももの寒い日が続き、歩くのが億劫で、ついつい車に乗って近くのスーパーやコンビニに出かけてしまいます。運動不足になりがちなの季節、少しは歩かなければと思います。

県広報とやまは、隔月(偶数月)発行で新聞折込により各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧することができます。

「県広報とやま」に関する
ご連絡、ご質問は

〒930-8501(県庁専用郵便番号、住所記入不要) 県庁広報課あて
☎ 076(444)3134 FAX 076(444)3478 E-mail koho@pref.toyama.lg.jp
ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/1101.htm>

近代美術館

富山県西中野町1-16-12
☎076(42)71111

トライ・アート2004ムゲンダイ発見
【2/11(水・祝)まで】
料 一般 300円 高・大 200円 小・中 150円

20世紀の巨匠たち アートは出会い!
【2/21(土)~3/21(日)】
「おもいで」や「やすらぎ」などをテーマに、多彩なジャンルの作品を展示します。
料 一般 300円 高・大 200円 小・中 150円
いずれも、常設展示もご覧になれます。

開 9:30~17:00(入館は16:30まで)
休 月曜、祝日の翌日
料 常設展 一般 200円 高・大 160円 小・中 100円




水墨美術館

富山県五福7-7
☎076(43)3719

現代の水墨画2004
墨の可能性と新たな創造
【2/13(金)~3/21(日)】
墨によるさまざまな表現を追求する10名の作家の作品を紹介し、水墨画の新たな可能性と墨のもつ現代的な意義を探ります。
料 一般 900円 前売700円 高・大 650円 小・中 450円
常設展示もご覧になれます。

開 9:30~17:00(入館は16:30まで)
休 月曜、祝日の翌日
料 常設展 一般 200円 高・大 160円 小・中 100円

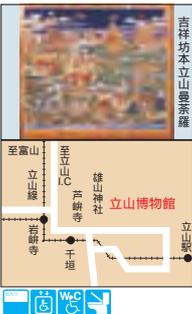
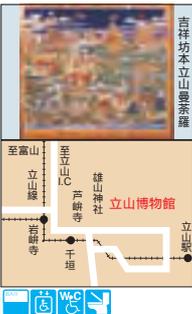



立山博物館

立山町戸崎寺93-1
☎076(48)12116

館蔵資料の公開「立山曼荼羅の世界」
【2/22(日)まで】
立山曼荼羅の実物や写真パネルなどを展示し、描かれている絵柄の内容を紹介します。
料 無料

開 9:30~17:00(入館は16:30まで)
休 月曜、祝日の翌日
料 一般 650円 高・大 400円 小・中 250円
展示館・遠望館・まんだら遊苑の3施設セット券
まんだら遊苑は3/31まで休苑

県民会館

富山県新総曲輪4-18
☎076(43)3113

N響メンバーで聴く名曲コンサート
【2/13(金)開演19:00】
料 一般 3,000(当日3,500)円 小・中・高 無料(要整理券)
全席自由

シリーズ「現」Art in TOYAMA-2004 9つの視線
【3/3(水)~24(水)9:00~18:00】
県内在住または出身の若手作家9名の作品を展示。
分館の内山邸・金岡邸でも同時開催
料 一般 500円 前売400円 分館共通券700円 小・中・高 250円
3/3(火)は休館




高岡文化ホール

高岡市中央園町13-1
☎076(26)4141

トウキョウ・ウィンズ
【2/29(日)開演14:00】
フルートの岩佐和弘とクラリネットの赤坂達三を中心に結成された木管五重奏団による演奏会。今回はピアノに県出身の高森静香を迎えます。
曲目/日本の歌曲集より「春の小川」「ふるさと」他
料 一般 4,000円(当日4,500円) 学生 1,500円
当日13:00から座席指定




新川文化ホール

魚津市宮津1-10
☎076(23)1123

にいかわ美術展
【2/7(土)~15(日)10:00~18:00】
平成15年度に新川地区の市町美術展で選ばれた優秀作品を展示します。
料 無料
2/1(火)は休館

ウィンターマーチング2004
【2/11(水・祝)開演14:00】
県内のマーチングバンドが一堂に会し、華やかなステージショーを行います。
料 一般 800円 小学生以下 500円
全席自由




利賀芸術公園

利賀村上巨瀬48
☎076(36)82028

舞台公演 鈴木忠志演出「リア王」
【2/14(土)開演15:00】
家族の絆が崩壊し、病院の中で孤独な死を待つ老人の記憶の中で、シェイクスピアの「リア王」が描かれていきます。
料 3,000円
全席自由 要予約 平日9:00~17:00




利賀少年自然の家

利賀村上巨瀬48
☎076(36)82028

野うさぎと歩こう
【2/28(土)~29(日)1泊2日】
白銀の野山をスノーシューを履いて自由に散策します。野うさぎに会えるかもしれませんよ。自然解説員(ナチュラリスト)も同行します。
対 小学校高学年以上とその保護者・一般
総 40名(申込順)
料 2/18(水)
料 一般 3,500円 小・中 3,000円(宿泊・食事代、保険料)
開 9:00~17:00
休 月曜、祝日の翌日
料 日帰り90円
宿泊 小・中 340円 25歳以下 670円 26歳以上 1,020円




立山カルデラ砂防博物館

立山町芦崎寺ブナ坂68
☎076(48)11160

ナチュラリスト写真展「自然の魅力」
【2/22(日)まで】
料 無料

フィールドウォッチング「雪上で生き物を探そう」
【3/6(土)13:30~16:30】
対 小学校3年生以上
数 30名(申込順)
総 2/28(土)
料 無料

開 9:30~17:00(入館は16:30まで)
休 月曜、祝日の翌日
料 常設展 一般 400円 高・大 320円 小・中 200円

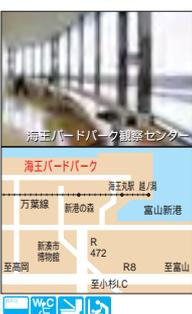



海王バードパーク

新湊市海王町15
☎076(66)5881

探鳥会
【2/15(日)3/7(日)8:30~10:00】
野鳥解説指導員(バードマスター)の解説を聞きながら野鳥観察をします。
料 無料

講演会
【3/7(日)10:00~12:00】
所 日本海交流センター
料 無料
開 9:00~16:00(3月からは17:00まで)
休 月曜、祝日の翌日
料 無料




らいちょうパレースキ場

大山町本宮
☎076(46)16333

雪の祭典
【2/21(土)22(日)11:00~14:00】
雪上ボーリングなどの各種ゲーム、特製「山麓鍋」のサービス、鏡割りなどを実施します。

ひなまつりファン感謝デー
【3/3(水)】リフト・ゴンドラ無料(女性限定)
開 8:30~16:30(土、日、祝日は8:00から)
2/29までの毎週金・日、祝日の前日、祝日はナイター営業(17:00~21:00)を実施
料 1日券 中学生以上 4,200円 小学生以下 2,700円
半日券 " 3,000円 " 1,900円
ナイター券 " 2,300円 " 1,500円




頼成の森森林科学館

砺波市頼成嶋1-10
☎076(23)1540

冬も楽しい森の中体験
【2/8(日)9:30~13:00】
かんじきやスノーシューで散策を楽しんだ後、キノコ汁を食べて温まります。
数 30名
総 2/5(木)
料 200円(キノコ汁代)

開 9:00~17:00
休 火曜、祝日の翌日
料 無料




土・日・祝日、教育活動での小・中・高校生の観覧は無料です。
水墨美術館、県民会館の前売り券(一般のみ)は、開催の前日まで近代美術館、水墨美術館、県民会館、高岡文化ホール、新川文化ホールで販売しています。